

第三次答申素案修正のポイント

○ 全体について

各委員からの意見を踏まえて、体裁を整えた第三次答申案を示してもらいたい。

- 第一次・二次答申と整合性がとれるよう、以下の修正、加筆を行った。
 - ・タイトルを、「県立博物館・美術館の今後の在り方 第三次答申」に改めた
 - ・章番号を、第一次答申からの続き(通し数字)に改めた
 - ・「第三次答申に際して(まえがき)」、「第三次答申の審議を終えて(あとがき)」を加筆した
 - ・本文の後に、「参考」として以下の4資料を付加した
 - 1 県立美術館の施設概要
 - 2 県立博物館・美術館の今後の在り方について(諮問)
 - 3 県立博物館・美術館の今後の在り方に関する審議の経過
 - 4 第12期・13期 千葉県生涯学習審議会委員・千葉県社会教育委員名簿

○ 目次(構成)について

「目次」だけを見ると、「2 県立美術館の現状と課題」を中心に答申がまとめられたイメージを受ける。ここを端折るか、「3 県立美術館の目指す姿と活性化策」に行を割いて、どこが重要か「目次」で一目瞭然となるようにしてもらいたい。

- 目次について以下の訂正を行い、全体のバランスを整えるとともに、それと整合性がとれるよう本文も改めた。
 - ・「2 県立美術館の現状と課題」の丸付き数字の項目は、目次から削除した。
 - ・本文中の「2 県立美術館の現状と課題」の丸付き数字は、「3 県立美術館の目指す姿と活性化策」の小項目と同等に「○」に変更した。
 - ・「3 県立美術館の目指す姿と活性化策」に、新たに中項目「(1) 目指す姿」を設け、本文中の前文をこれに位置付けた(項目名称のみの新設)。
 - ・「3 県立美術館の目指す姿と活性化策」の各中項目名には「の活性化策」を加筆し、本文も改めた(上述「(1)」新設に伴い、項目番号は順送り)。

○ 本文について

12ページの「子育て世代の支援」では、自由に触れる展示等、小さな子供にも楽しいと思わせる工夫の記述があると良い。

- 13ページの関連カ所に、「ハンズオン展示の更なる導入など」を加筆した。

利用者を増やすには、企画展／特別展の開催数を増やすことが必至であり、それには財源が必要である。財源においては、公的支援をしっかりと行うという県の姿勢が大切で、これを文章として明記するか否かとは別に、行政側がしっかりと認識しておくべき。

- 企画展等の回数を増やすことについては、11ページの関連カ所に「企画展の更なる充実とともに」を加筆した。

「まえがき」、「あとがき」のいずれかに、本答申と第一次・第二次答申との関係性、答申を三回に分けた経緯、本答申が諮問に対しての最終答申となる旨を明記してもらいたい。

- 16ページ「第三次答申の審議を終えて」に趣旨を踏まえた加筆を行い、全体を再編した。